



2024年8月5日

各位

会社名 GFA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード: 8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

エムケイドットエックス株式会社への出資及び合弁会社設立に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、EV カーシェアリング事業・EV 充電事業を展開するエムケイドットエックス株式会社（以下、「MKX 社」といいます。）への出資を行うこと、また MKX 社と合弁会社（以下、「JV」といいます。）を設立することを決議しましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

記

1. 出資及び JV 設立の背景

当社は、2024年3月22日付の当社ホームページ上でのプレスリリース「エムケイドットエックス社との戦略的業務連携の推進に関するお知らせ」で既報のとおり、MKX 社の EV 関連事業を日本市場で展開するための協議を両社で重ねてきました。

MKX 社は、東京を中心にタクシーやハイヤーでの送迎サービス事業を提供する東京エムケイ株式会社の関連会社として、2023年に設立されたスタートアップ企業で SDGs に配慮したモビリティ事業を行っており、主に EV カーシェアリング事業、EV 充電スタンド事業を展開しております。

MKX 社では、スマートフォンひとつで会員登録、予約、ドアの開錠/施錠、返却など、あらゆる操作が行えるカーシェアリングサービス「miraiMo (みらいモ)」などの提供もしています。

MKX 社の黄代表は、2024年3月22日に当社の取締役として就任しており、MKX 社と当社は EV 事業やフィンテック事業を対象にして、両社のグループリソースを活用した事業連携について、当社関連会社の株式会社フィフティーンが JD.com 京東日本株式会社と日本国内の物流事業における連携を図っていることから、当社を媒介として、MKX 社が EV 事業の日本国内における展開上で、互いに協業できる座組の検討や当社の戦略的パートナーシップ契約締結先である北京藍深科创科技有限公司が持つ裸眼立視技術を活用した販促・広告媒体での取り組みなどの提供ができないかなど、協議を実施してきました。

そのなかで、両社の連携強化を具体的にも進めていくために、共同出資による JV 設立による形で事業連携に向けた協議を進めていくこととなりました。

また、MKX 社は今後の事業展開において、都心のターミナルから商業施設、郊外、更に観光地リゾート地へと EV 充電設備設置など拡販強化していく計画で外部から新たにエクイティによる資金調達を検討しており、当社との協議のなかで MKX 社から一部出資の打診をいただきました。

JV 設立による事業連携と共に MKX 社へ直接出資することでより強固な関係構築と事業へのコミットメントを表明すべく、当社も出資参画することとなりました。

2. 出資の内容及び JV の事業目的

(1) 出資の内容

今回、MKX 社が実施する資金調達は、シリーズ A ラウンドであり、スタートアップ企業が事業成長を遂げるための本格的な資金調達が始まる大事な投資フェーズとなっております。

エクイティでの資金調達として、ポストマネーバリュエーション（資金調達後の企業価値）を約1億万米ドル（※日本円換算で約150億円想定）試算として、投資家に対してシリーズ Pre-A 優先株式を新規に発行されます。

当社は新規発行の優先株式を一部取得する形で出資しますが、出資金額に関しては自己資金あるいは外部からの資金調達等から充当する予定です。

<当社による MKX 社への出資内容>

(1)	出資形態	シリーズ Pre-A 優先株式の取得
(2)	出資金額	3億円相当額の米ドルによる出資（株式保有比率：約2%）
(3)	出資契約日	2024年8月5日
(4)	払込予定日	2024年10月中

MKX 社は本件による調達資金を販促マーケティング及び製品開発、ブランド開発など事業拡大のための運転資金等に充当します。

(2) JV の事業目的

当社と MKX 社で共同出資をする JV においては、以下の事業目的を定めることで協議していく予定としております。

<事業目的>

日本国内に、EV 充電装置を含む充電ネットワークを開発、建設、運用、保守を行います。

本 JV 事業においては、以下のとおり、当社と MKX 社が、それぞれが有するリソース・事業ノウハウを提供しながら、共同で事業を推進していきます。

当社と MKX 社の想定している役割については、

<MKX 社の役割>

1. 東京都及び全国の充電ネットワーク建設計画の策定
2. 充電ネットワーク管理プラットフォーム(オンラインシステム)の開発
3. 充電ネットワーク開発チーム組成
4. 充電機ブランド代理店スキームの構築
5. 充電業務補助金申請のサポート

<当社の役割>

1. 施工資格者（業者）の手配、施工管理チームの組成
2. 建設期間内における、建設コストの資金調達
3. 充電ネットワークの保守、管理(オフライン)

現在、当社では当社及び各子会社における国内外において人的ネットワーク及び事業パートナー等との連携による多角的な取り組みを展開しており、本業でもある金融サービス事業を軸にして、当社の役割にコミットしていきます。

また当社は、MKX 社との JV が展開していく EV 充電事業の日本進出を機に、EV 充電事業により副次的に生まれる顧客資産・移動広告データを活用して、Web3（ウェブスリー）市場における新規事業の展開、O2O マーケティングの実施等、ソフト産業における利益率の高い領域においても本事業と併せて推進していきたいと考えております。

3. 出資及び合弁の相手先概要

(1)	名 称	エムケイドットエックス株式会社
(2)	所 在 地	東京都港区東新橋 1-2-5 東新橋 1 丁目ビル
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 黄 暁昕
(4)	事 業 内 容	EV シェアリング事業、EV 充電スタンド事業
(5)	資 本 金	100,000,000 円

(6) 設 立 年 月 日	2023年9月13日	
(7) 大株主及び持株比率	Mobility JP 株式会社	70%
	エムケイドットエックス株式会社	20%
	東京エムケイ株式会社	10%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	黄代表は当社取締役も兼任しています。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(9) URL	https://mk-x.co.jp/	

※設立して間もない企業のため、財務情報などはありません。

4. 今後の見通しについて

現在、MKX社とJV設立に向けた今後のスケジュール、出資にかかる詳細条件など具体的に協議をしていることから、詳細が固まり次第、速やかにお知らせいたします。

本件が現時点において当社の2025年3月期の連結業績に与える影響につきましては軽微である見込みではありますが、2026年3月期以降については精査中であります。

以 上